

授業改善研修会 外国語活動・外国語

教師が「～させる」授業から、児童生徒が「～する」授業へ

群馬県教育委員会事務局
義務教育課 教科指導係

本日の内容

- 1 群馬県教育ビジョンと令和7年度学校教育の指針
～「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」～
- 2 「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」設定の背景
- 3 「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」を
具現化するために～本日の二つの授業を基に～

本日のまとめ

- 単元の課題とつながりのある言語活動を設定する。
- 本時のねらいに沿い、焦点化した発問や問いかけをする。

1.群馬県教育ビジョン

共通認識したいこと

自分事化 自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す！

幼稚園教育要領や学習指導要領の資質・能力の三つの柱（「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」）の育成を目指して、具体的な取組の例を示します。

- 《取り入れたい場面》を意識した問題解決的な学びを行いましょう。
 - 教師は見守りつつ、適切な支援（意欲や目的意識を高める問いかけ、比較・分類・関連等を意識した発問等）を行いましょう。
- ※子供たちが好きなことを自由にしてよいということではなく、課題の解決に向け、友達と協働しながら自分たちの力でより良い方法を考えることができるようにすることが大切です。

変化の激しい社会を
自分の力で
歩いていける人

エージェンシーを発揮する

「自律した学習者」へ

～「群馬県教育ビジョン（第4期群馬県教育振興基本計画）」の実現に向けて～

幼児教育施設から高等学校まで、全ての学校園で取り組みます

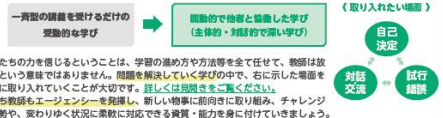


学校生活の中で、写真のような子供たちの姿が溢れるといいですね。そのためには、子供たち一人一人がエージェンシーを発揮する自律した学習者になっていくことが大切です。

エージェンシー？ カクナで分かりにくいな。自律した学習者？ また新しいことをしなければいけないの？

でも、実際は、こんな感じの子が多いな…
「間違えているかもしれないから黙っていろ。言われたことだけやればいいや。」

エージェンシーとは、「人が生れながら持っている自分と社会をより良くしようとする意志、原動力」です。学ぶ内容は、幼稚園教育要領や学習指導要領に示されている内容であり、これまでと変わりません。今、私たち教師に必要なのは、子供たち自身の力を信じ、学びの転換を図ることです。

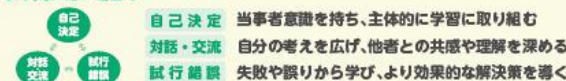


自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す！

●群馬県教育委員会 平田郁美教育長からのメッセージ●
子供たちは、生まれながらにして自分と社会をより良くしようとする意志を原動力にして、積極的に成長しようとする力を持っています。この力を生かした教育の実現に向けて、失敗を恐れず、試行錯誤しながら取り組んでいきましょう。

令和6年3月 群馬県教育委員会
(エージェンシーを発揮するための学びを推進するリーフレット)

《取り入れたい場面》



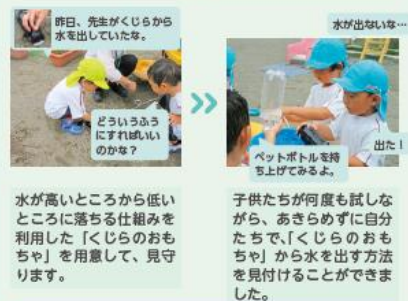
発達状況に応じて、「自分で考え、決める」割合が増えていきます。

幼児教育施設

ポイント

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を念頭に置いて、環境の構成をしましょう。

●水遊びの場面（水遊びおもちゃ）



水が高いところから低いところに落ちる仕組みを利用した「くじらのおもちゃ」を用意して、見守ります。

子供たちが何度も試しながら、あきらめずに自分たちで、「くじらのおもちゃ」から水を出す方法を見付けることができました。

教科学習の素地となる遊びが自然に行われます。

ポイント

「課題を自ら見だし、考える」場面を増やし、自分で学びをつくる楽しさを実感できるようにしましょう。

●1年理科「光の性質」の全身が映る鏡の大きさを考える場面

友達の色紙と長さ比べたいな。でも動かさず貼土が切れちゃう…



リボンや鉛筆等、比較に使える具体物を用意して、自由に使えるようにします。

子供たち同士で試行錯誤しながら、長さの比べ方を考えることができました。

小学校

ポイント

自分で決定し、他者と交流しながら、友達と試行錯誤する場面を増やしていきます。

●1年理科「光の性質」の全身が映る鏡の大きさを考える場面



様々な方法で考えたことを交流する良さや味わうとともに、光の性質を多面的に考えることができました。

自分には実際に実験をして確かめたいけれど、友達のように前に学んだ課題を使っても予想が合っているといえそうだな。

総合的な学習（探究）の時間



体験や交流を通して課題を見いだす場面



仲間とともに考える場面



探究してきたことをアウトプットする場面

エージェンシーを発揮（自律した学習者）

中学校

ポイント

自らの生き方や社会の課題の解決に向けた探究的な学習となるように、単元・題材をデザインしましょう。

●英語コミュニケーション！ 課題について考察する場面

私たちの身近な地域の課題ってどんなことがあるかな？

誰かが住みやすい町にするには、どうしたらいいかな？

Solutions
To widen the road
To pave gravel roads
To make a slope

私たちの町は高齢化が進んでいるよね。

実社会における課題を自分事化し、分析・考察した上で、具体的な提案・解決策を英語でプレゼンテーションする単元をデザインします。

地域や社会を調べ、試行錯誤しながら課題の解決につながる提言をすることができました。

ポイント

探究意欲（ワクワク感）を高められるような課題と出会う活動を設定したり、やりがいや達成感を味わえるよう、自分の思いを形にする場を設定したりしましょう。

行事等



ポイント

活動自体が目的ではなく、自分たちで行事を作り上げていく意義を実感し、より良い社会を実現するために何ができるかという視点を持って生活できるように支援しましょう。

上記の場面はあくまでも一例です。総合的な学習（探究）の時間と行事等は、どの校種にも置き換えて考えることができます。

自分事化 自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す！

外国語活動・外国語科の授業における3つの場面

《 取り入れたい場面 》



児童生徒が思考する言語活動を授業（単元）の軸にする



Ⅰ. 令和7年度学校教育の指針

～特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント～

外国語活動・外国語科で
特に現れてほしい子供の姿

コミュニケーションを行う目的や場面、
状況等に応じて既習表現を駆使しながら
自分の思いや考えを伝え合っている

授業づくりのポイント

- ・児童生徒にとって自分事になるような目的や場面、状況等を明確にした言語活動を設定する。
- ・単元末の具体的な姿に基づいて言語活動に取り組む様子を見取り、伝える内容や用いる表現に関する気付きを引き出す発問をする。

言語活動では

自己
決定

対話
交流

試行
錯誤

を繰り返していますか。

本日の授業では・・・

孺恋村立東部小学校

追究する過程

自分が行きたい国について相手に分かってもらえるように、友達や教師、ALTをやり取りし、その国の情報や自分の思いを伝え合った。

試行
錯誤



自己
決定

やり取りを通して見付かった自分の課題を解決するための学習方法を考え、取り組むことができた。

長野原町立長野原中学校

追究する過程

アメリカの学生に長野原町について紹介するために、教科書の本文の学習を参考にしながら、町にあるもの、いるもの等を伝え合った。

自己
決定
試行
錯誤



There is /are～.文を正しく用いて、町にあるもの・場所について伝えることができた。

2. 「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」設定の背景

全国的な課題

◇コミュニケーションを行う目的や場面、状況などを明確にした言語活動を設定してるが、子供が自分事として活動の目的を意識できていない。

興味・関心のある題材

単元を通して活動の目的を意識



◇言語活動及び言語活動を通して、2つの側面（内容面、言語面）からの指導を確実に行うことができていない。

言語活動を通した指導の充実

- ・適切な言語材料の活用のための指導
- ・思考・判断して情報を整理し自分の考えなどを形成、再構築するための指導



2. 「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」設定の背景

先生方の声



毎回、単元の導入（第1時）の授業に悩んでいる…

目的・場面・状況等の設定を工夫したい…

単元の課題を教師から提示することが多い…

単元の課題と、新出言語材料の導入と理解の学習、教科書の内容の学習がつながらず、単元末の課題解決に向かっている感じがしない…



子供自身が気付いたり、自分で学びを進めることができる授業にしたい…

単元の課題
言語活動の設定

単元構想・
授業デザイン

教師の関わり

昨年度の取組（伊勢崎市立赤堀東小学校・赤堀中学校）

- 児童生徒にとって自分事になるよう「伝える目的や相手」を明確にした。
- 児童生徒の発話の状況に応じて、発問や言葉かけをした。



追究する過程

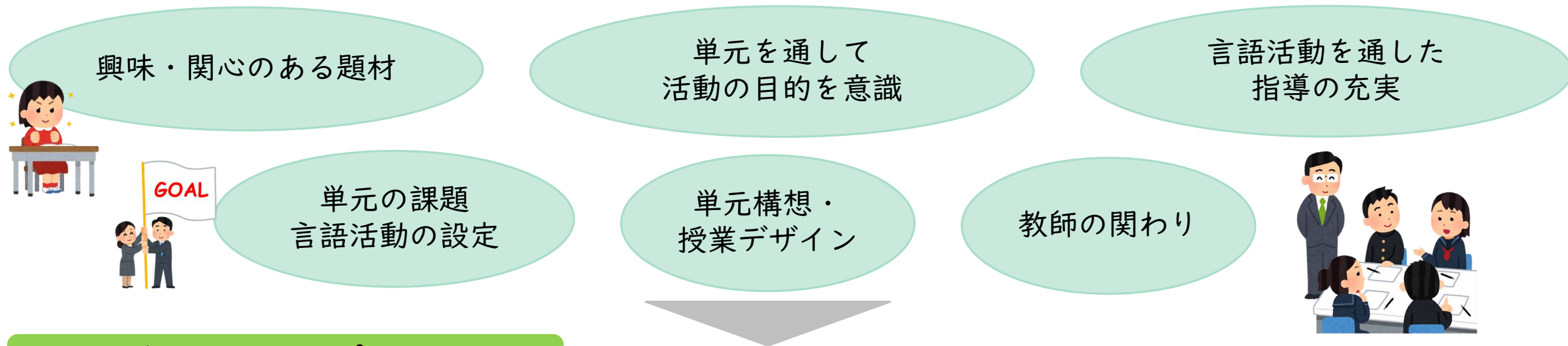


つかむ過程

明確な相手意識、目的意識を持てたことで、児童生徒の主体的な学びにつながった。既習表現を駆使して、自分の思いや考えを伝え合うことができた。

ゴールの姿に近づくことができるように、状況に応じた発問や言葉かけを行い、児童生徒が必要感を持って、自ら学びを進めていけるようにしたい

3 現れてほしい姿と授業づくりのポイントを具現化するために



授業づくりのポイント

- ・ 児童生徒にとって自分事になるような目的や場面、状況等を明確にした言語活動を設定する。
- ・ 単元末の具体的な姿に基づいて言語活動に取り組む様子を見取り、伝える内容や用いる表現に関する気づきを引き出す発問をする。

特に現れてほしい子供の姿

コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて既習表現を駆使しながら自分の思いや考えを伝え合っている

3 現れてほしい姿と授業づくりのポイントを具現化するために

- ✓ 児童生徒にとって自分事になるような目的や場面、状況等を明確にした言語活動を設定する。
- ・ 単元末の具体的な姿に基づいて言語活動に取り組む様子を見取り、伝える内容や用いる表現に関する気づきを引き出す発問をする。

単元の第1時 児童生徒とともに単元の課題を設定した

コミュニケーションを行う
目的や場面、状況等を把握する



伝えてみたい

伝えられそう

伝えるべき

自分事になる

ポイント

児童生徒にとって身近、本物、興味・関心、教科書題材との関連から、目的や場面、状況等を提示し、児童生徒自身が「何をするか」を考えられるようにする



3 現れてほしい姿と授業づくりのポイントを具現化するために

孺恋東部小学校

前単元で日本と世界とのつながりについて高校生に伝えた際、高校生から感想や質問を伝えられた。

世界にはいろいろな国があるよね。

行ってみたい国はある？

前単元末



行きたい国があるから
教えてみたいな。

第1時

世界のいろいろな
国のことを知るこ
とができそう！

前に発表した国について
もっと調べて伝えたいな



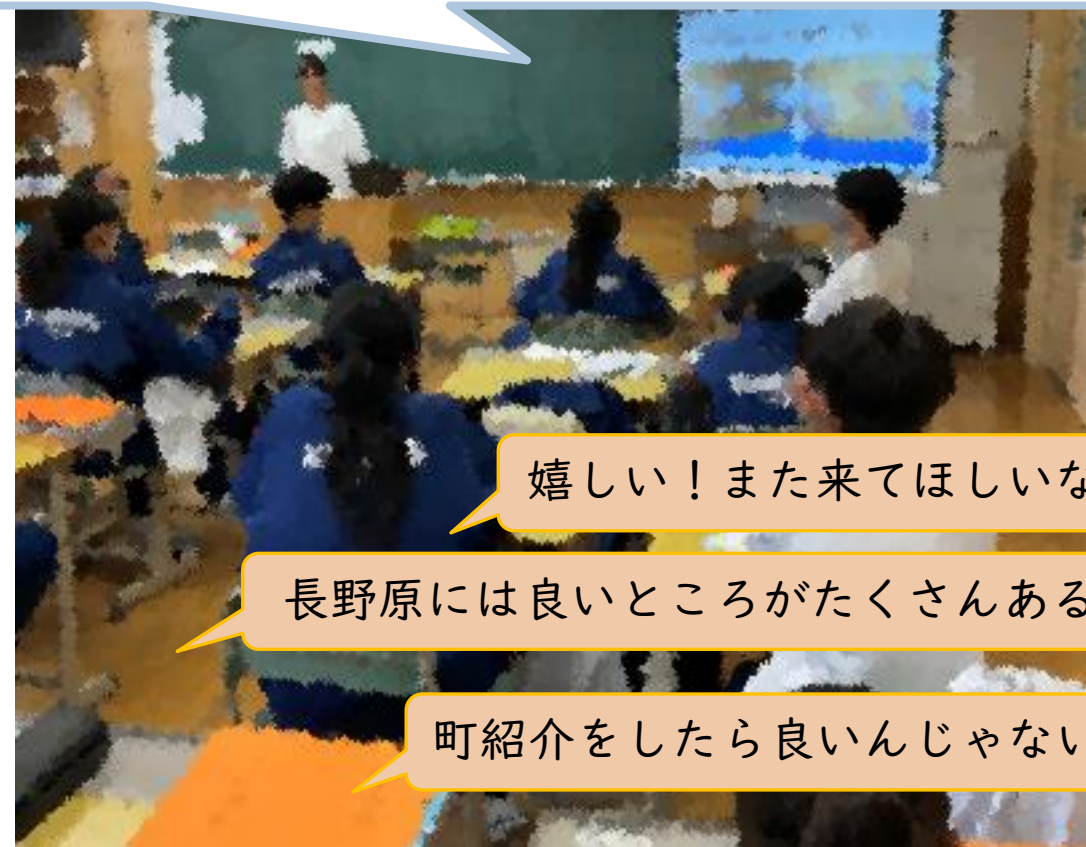
長野原中学校

アメリカの学生が町に滞在した際の感想を知って、自分たちに何ができそうか考えた。

I like Naganohara very much!

I like beautiful nature! I like camping and hiking.

I want to know Japanese culture more.



嬉しい！また来てほしいな。

長野原には良いところがたくさんあるよ

町紹介をしたら良いんじゃない？

3 現れてほしい姿と授業づくりのポイントを具現化するために

本日のまとめ

○単元の課題とつながりのある言語活動を設定する。

○本時のねらいに沿い、焦点化した発問や問いかけをする。

Before

単元の課題を設定したものの、各学習過程の学習活動（言語活動）とのつながりが弱い。

つかむ

単元の課題の設定

追究する

新出言語材料の理解と活用

教科書の内容理解

新出言語材料の練習・言語活動・教科書を用いた学習が別々の学習活動として位置付いていて、単元としてのまとまりが弱い。

まとめる

単元末の言語活動

GOAL

児童生徒は単元のゴールに向かって学習を進めている実感を持っているか。



3 現れてほしい姿と授業づくりのポイントを具現化するために

本日のまとめ

○単元の課題とつながりのある言語活動を設定する。

○本時のねらいに沿い、焦点化した発問や問いかけをする。

長野原中学校

第1時 単元の課題設定・試しの活動・学習計画立案

「何ができるようになりたいか」

「そのためにどのような学習が必要か」

After

単元のゴール

本時のめあて どうすれば紹介できそう？

教科書の本文の学習

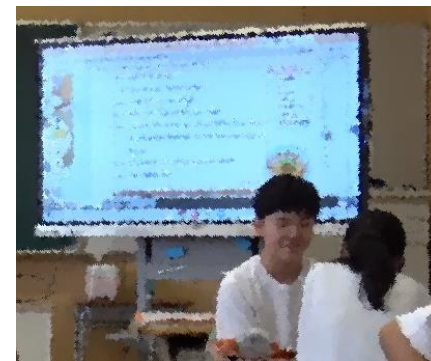
参考にできそうなところは？

友達や先生と伝え合う活動

There is /are～.を使って町に何があるかを伝えられた。
次はもう少し詳しく伝えたい。

次時は新たな表現の学習

教科書本文の学習と新出言語材料を活用した言語活動を教科書の題材や「紹介する」という活動でつなげた。



「教科書本文の学習が単元の課題解決につながる」ことを実感した。

3 特に現れてほしい姿と授業づくりのポイントを具現化するために

孺恋東部小学校

よりよくしたい点を見付ける活動と、「自身の紹介の内容や表現をよりよいものにする」ための活動をつなげた。必要感を持って取り組むことができた。

友達や先生とのやり取り

見付かった課題の共有

学習方法を選び再度取り組む



児童と共に決めた評価の視点

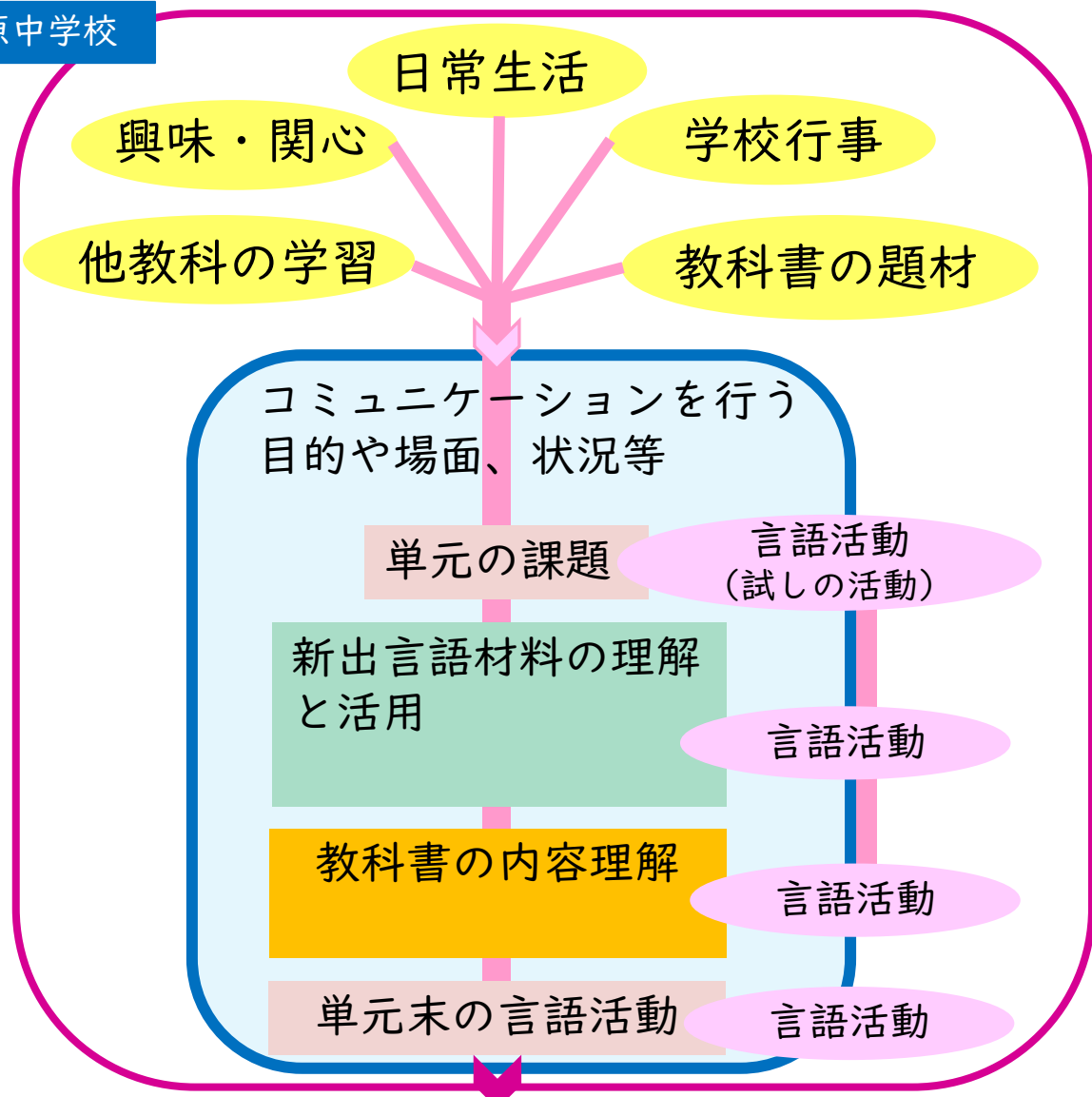
ポイント

教科書の題材や内容・表現等を活用し、単元の課題、追究する過程の学習活動・言語活動をつなげ、児童生徒が必要感を持ちながら学習を進めることができるようにする

3 特に現れてほしい姿と授業づくりのポイントを具現化するために

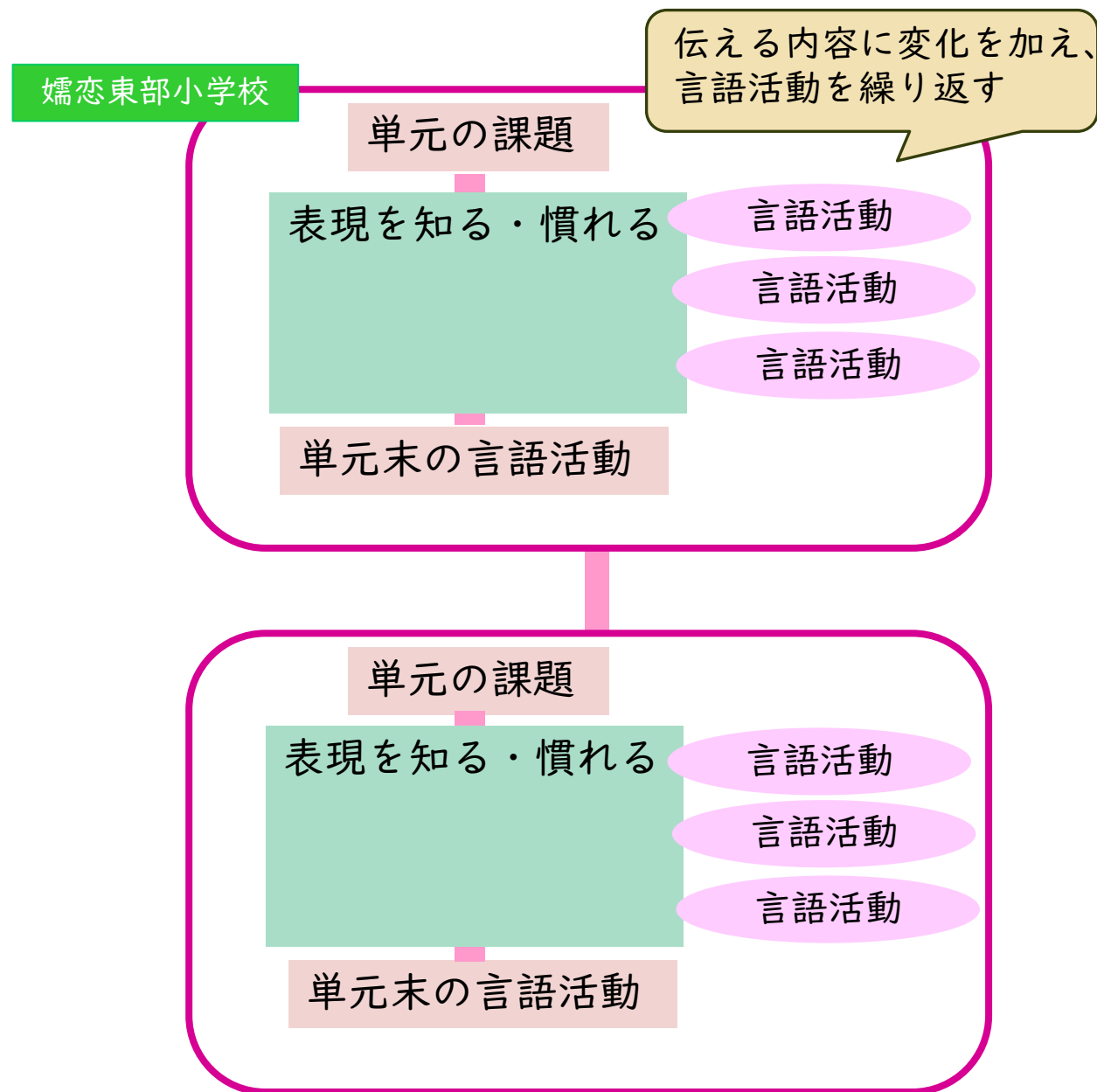
単元全体では…

長野原中学校



次の単元 2 学年 3 学年

孺恋東部小学校



3 特に現れてほしい姿と授業づくりのポイントを具現化するために

児童生徒にとって自分事になるような目的や場面、状況等を明確にした言語活動を設定する。

✓ 単元末の具体的な姿に基づいて言語活動に取り組む様子を見取り、伝える内容や用いる表現に関する気づきを引き出す発問をする。

Before 言語活動に取り組む前に、教師が本時で児童生徒に使ってほしい表現を提示し、全体で確認してから児童生徒が活動している。

What food do you like?
What color do you like?
When is your birthday?
Can you play~?



友達のことを知るために、これらの質問を使ってインタビューしよう。

Are you~?
I am ~.
I' m good at~.
I' m a fan of~.



昨日は〇〇を勉強したよね。
今日はこれらを使って会話しよう。

児童生徒は何を伝えるか（内容）やどのような英語で伝えるか（表現）を十分に思考しながらコミュニケーションをしているか。



3 特に現れてほしい姿と授業づくりのポイントを具現化するために

本日のまとめ

- 単元の課題とつながりのある言語活動を設定する。
- 本時のねらいに沿い、焦点化した発問や問いかけをする。

After

言語活動に取り組む前に、伝えたいことや、そのことを伝えられそうな表現を児童生徒に問いかけたり、活動と活動の間（中間指導）や本時の振り返りの際に、児童生徒の発話を紹介している。

孺恋東部小学校

前時：修学旅行について、I went to ～. I saw ～.
I ate ～. を使って伝えた。



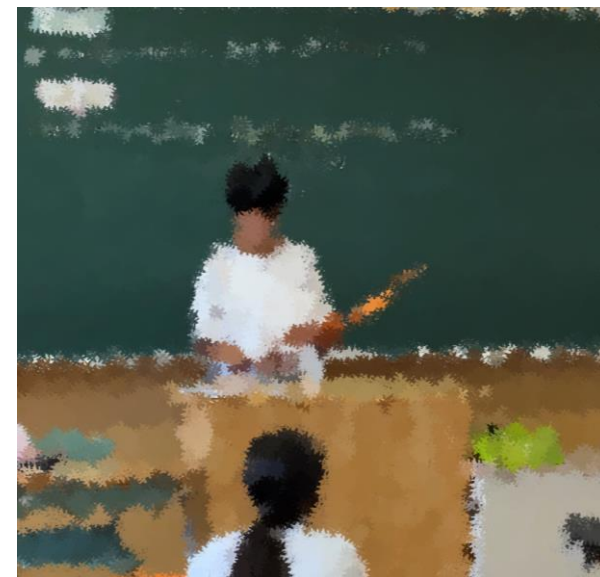
試行
錯誤

ペア活動を繰り返す中で、児童から感想を伝える形容詞を引き出し、板書した。黒板を参考にして伝えている児童もいた。

長野原中学校

学年の先生たちに自分のことをもっと知ってもらうために先生が知らなそうな自分のことを伝えた。

他の聞いている生徒に、発表した友達の内容のよさを尋ねたり、用いている英語表現について全体で共有した。さらに、教師は「どのように取り組んできたか」について発表生徒に尋ね、その成果やよさを紹介した。



3 特に現れてほしい姿と授業づくりのポイントを具現化するために

まずは、単元末のゴールの姿の具体（児童生徒の英語）を明確にした。
それを基に、本時のゴールの姿も具体化した。

単元末の姿（A基準）

孺恋東部小学校

A : Where do you want to go ?
B : I want to go to France.
A : Oh, France!
B : Yes. We can eat delicious food.
A : Delicious food? What food?
B : We can eat croissants.
A : Nice!
B : I like croissants. Do you like croissants?
A : Yes, I do.
B : Good. And we can see the Eiffel Tower.
It's beautiful.
A : That's nice.
B : Let's go to France.

長野原中学校

There is a good place in Naganohara.
This is Asobinokichi "NOA".
There are a lot of tents there.
You can enjoy camping and BBQ.
It's exciting. And you can go to there by bike.
There is a hot spring near NOA.
It's Kawarayu Onsen, a famous hot spring in Gunma.
I sometimes go there with my family.
You can be relaxed.

Can-Doリスト

単元目標

単位時間のねらい

本時のゴールの姿

このような内容を英語で発表したり
やり取りできたらいいな。

部分がない場合はB基準



3 特に現れてほしい姿と授業づくりのポイントを具現化するために

孺恋東部小学校

児童とのやり取りの中で、教師は内容面に焦点を当て、問いかけた。
ALTは言語面に焦点を当てた言葉かけをした。

本時は単元の第5時 思考力・判断力・表現力等を高めたい
様子を説明したり、それについてどう思うかを伝えたりしてほしい
学習した表現を使って表現できるようになってほしい

Where is ○○?

How is the Eiffel Tower?
Is it tall? Is it famous?

Is it delicious?
Do you like croissants?



You went to France?
You want to go to France?

Oh, France ! Me, too!



3 特に現れてほしい姿と授業づくりのポイントを具現化するために

長野原中学校

生徒とのやり取りの中で、教師は言語面に焦点を当て、問いかけた。
ALTは内容面に焦点を当てた言葉かけをした。

本時は単元の第3時 知識・技能を身に付けてほしい

There is a ～. There are ～ s … の表現を正しく使えるようになってほしい



Oh, there is “a” shrine in ○○. I don’t know that. And there are many cherry trees. Nice. I want to see them.

There is shrine in ○○. There are many cherry tree.



I see. There is a park near the station. What can we do there?

3 特に現れてほしい姿と授業づくりのポイントを具現化するために

孺恋東部小学校

既習表現を活用し、やり取りをすることができた。やり取りを通してよりよくしたい点を見付け、学習方法を考え、取り組むことができた。



世界のいろいろな国について詳しく知ることができるよう伝えるんだよね。

見通し

今日のめあてはどうしますか？

言語活動

Where is ○○? How is ○○?
Is it ~? What can we do?

振り返り

次の時間はどんな方法で課題を克服できそうかな？

3 特に現れてほしい姿と授業づくりのポイントを具現化するために

長野原中学校

教科書の本文を参考に、There is /are～を用いて、町にあるもの・場所について伝えることができた。



Your friends want to know more about Naganohara.,right?

What do you need for your presentation?

見通し

言語活動

Oh, there is “a” ○○ near your house.

振り返り

どうやってできるようになったの？

ポイント

本時のゴールの具体（児童生徒の英語）を明確にし、言語活動を通して、内容を深めたり、使用する英語表現の正しさや適切さに気付けたりする発問や問いかけをする。

3 特に現れてほしい姿と授業づくりのポイントを具現化するために

児童生徒が学び方を自ら選択でき、自ら学びを進めていくために

児童生徒の思考に沿った教材や教具、活動場所等の学習環境を整える

環境の構成

学習者用端末

教科書・辞書（紙・デジタル）



録音・録画

情報アクセス



個人・ペア・グループ・フリーで

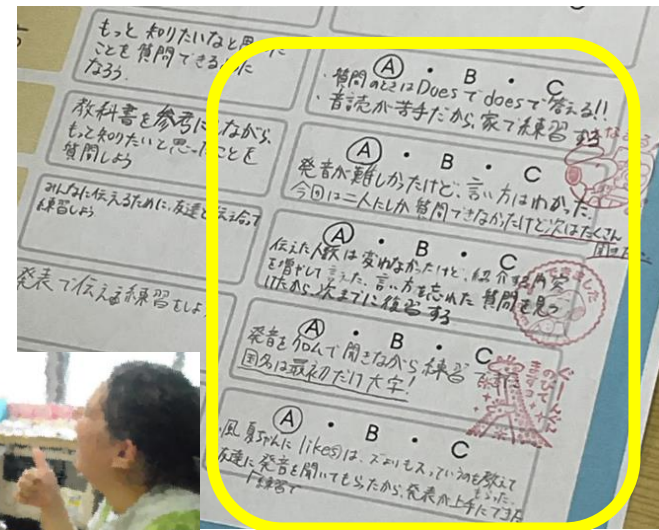
人も環境の一つ

友達 JTE ALT ゲストティーチャー
高校生 アメリカの学生…



振り返りで、どのように
学んだのか（学び方）と、
その成果を共有する

- ・音読が苦手だから家で練習する。
- ・発音をクロームブックで聞きながら練習した。
- ・友達に練習で発音を聞いてもらえたから発表が上手にできた。



伝える相手を選ぶ



本日のまとめ

- 単元の課題とつながりのある言語活動を設定する。
- 本時のねらいに沿い、焦点化した発問や問いかけをする。



エージェンシーを発揮し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて既習表現を駆使しながら自分の思いや考えを伝え合っている子供の姿

英語によるコミュニケーションを楽しんでいる
相手に伝えられた、相手のことが分かった喜びを味わっている子供の姿